

大成ロテック建築部では、これまで数多くの建築物を施工してきました。

2022年度より建築本部が設立され、大成ロテック(株)の基幹事業として成長するべく、より一層、建築事業に邁進してまいります。

また、昨年度は大成建設(株)のご紹介により鉄筋コンクリート造の事務所を施工することができました。これまでは鉄骨造の建築物が主でしたが、建築部の新たな取り組みの一つとして大きな実績を残すことができました。特に、建築工事における品質管理や技術力の向上に取り組んだ事例を紹介します。

事例

【工事名：埼玉県内事務所ビル】

3Dモデルの作成

設計図を基に3Dモデルを作成し、発注者や設計と確認し、施工者の認識とズレが生じないよう、外観全体のイメージの共有を図りました。

また、各仕上げに関するイメージの共有や建築と設備の取り合いの検討に活用することができました。



モックアップの製作および改善案の検討

本工事の外壁はコンクリート打ち放し仕上げ、および杉板浮造り本実(すざいたづくりほんざね)型枠コンクリート打ち放し仕上げであり、躯体の品質が仕上げの品質に直結するものでした。

杉板には3種類あり、それぞれ異なる見え方の仕上がりとなります。そのためモックアップの製作を行い、施工性等の検討や、発注者および設計と仕上げイメージの確認を行いました。

その結果、使用した杉板の中で最も木目と色が濃く表れる焼浮造りを使用することになりました。

お客様の満足のために

内外装ともに意匠性が高い建物の施工でしたが、発注者および設計との細かい打合せを重ねたことで、発注者に満足いただける建物を完成することができました。

現場担当者声

工程管理には大変苦労しましたが、大成ロテックの完成物件の中でも一番のグレード感と仕上がりの建築物をお引渡しできたと考えています。無事に竣工・引渡しができることに非常に安堵しました。

